



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- | | | | |
|-----------------|----------|--------------------|----------|
| ■ 湘南希望の郷30周年の原点 | P1 | ■ ボランティアさんと素敵な絵の紹介 | P2 |
| ■ 利用者・家族会 | P3 | ■ 行事予定・編集後記 | P4 |

湘南希望の郷30周年の原点



1986年6月
1日開所の1年前から開所準備
のため、現理事長を始め有志で
県内外の他療護施設見学を重ね、
居室の

イバシー確保の

ため、仕切をカーテンから板戸にしたり、8つの個室化、トイレ・浴室・食堂配膳室・洗濯室などの設計変更を検討することなど、入居者中心に、職員が働きやすい施設づくりを目指しました。

その前年、私は、「よこはまりバーサイト」とつかホーム（現よこはまりバーサイト泉）に介護職として勤めていて、福祉の勉強会を五十嵐宅の「さがみライトサロン」で行うということを聞き、仲間と参加しました。

社会福祉法人が何かなど考えることなく、福祉を説く五十嵐光雄先生のお話は新鮮でありました。全盲の先生の頭の中にはジャンル別の引き出しがあって、あとあとあらゆる知識が詰められているのではないか、と驚きの連続でした。

「月刊福祉」を教材にしたり、「重度障害者の依存と自立を支えるシステム～施設と生活」（E. J.ミラー、G. B.グイン著）を読み合わせしたり、毎月第1・3月曜日19時の集まりが楽しみでした。また、現理事長からの差し入れで空腹が満たされたことも嬉しいことでした。

第3代施設長（H13～15年）本谷 守
(現業務統括部長)

「施設と生活」は、30年以上前に読み、はっきり覚えていませんが、1950年代イギリスにできた病院とは違う「生活施設」の事が書かれ、入居者自らが「患者」ではなく「住人」と呼ぶよう主張したことや、職員採用に関与できるシステムがあったことは、印象深く覚えています。

湘南希望の郷の個室化は、狭いながらも全国で初めて実現したのではないかと思います。また、湘南希望の郷は、「隔離と管理」から脱却し、地域福祉の拠点としての機能が果たしていくように条件整備作りの課題をもって生まれました。

せせらぎ会福田会長のお母さんが、1986（昭和61）年5月26日の神奈川新聞の切り抜きを送ってくれました。

「重度障害者に療護施設を～元盲学校教諭の夢晴れて実現、民間で初、湘南希望の郷完成、藤沢の五十嵐さん2年かけて建設」の記事と、「職員等・入居者自治会の代表16人が藤沢市長に人件費補助など要望」の記事、そして、五十嵐光雄理事長が「この人」欄で紹介されている記事などです。

湘南希望の郷の原点が、以上のように開所時にあります。今後も原点を忘れず理想の実現に絶え間ない努力を続けましょう。



ボランティアさんの紹介

(朗読) 岩崎 紀子さん



希望の郷のボランティア歴は20年以上になりました。

きっかけはボランティア講座を受けたのが始まりで、福祉のお仕事へも繋がって、介護福祉士を取得し、13年前からヘルパーさんもされています。とてても笑顔の素敵な方で、健康の秘訣はと伺うと、「毎日1時間の散歩と、希望の郷に来ること」とすぐに答えてくれました。

(シーツ交換) 上野 りえ子さん

ボランティアグループ「かわうそ」の代表さんです。「かわうそ」グループの特徴は、形をつくらないこと。いつも誰でも気軽に混ざって楽しく活動できる、そして、決して無理をしないところだそうです。終始ニコニコ顔を崩すことなくお話ししてください、それこそ、周りに安心感を下さるグループの雰囲気を垣間見た感じで、健康の秘訣を伺えばまたもや、「希望の郷に来ること」と。

(シーツ交換・縫製)

木所 昌子さん



ボランティア第1期生で、活動30年目になります。

「かわうそ」グループのメンバーでもあります。とても手先が器用で、入居者さんの縫い物もたくさんやっています。

いつも穏やかな笑顔で、誰にでも優しく接してくださり、郷のお母さん的な存在感が大きくて、こういった方たちに応援をいただいているって心強いし、素敵だなと思うばかりです。



素敵な絵の紹介



希望の郷の住人さんの岩崎さんが描いた素敵な絵をご紹介します。学生の頃から美術が好きだったので、今も続いているそうです。



希望の郷に遊びに来たカメ

ミニトマト

短期入所をよく利用されるHさんが5月3日に植えたミニトマト。6月14日にはこれくらいでした。
そろそろ食べ頃?



◆せせらぎ会◆

7月、梅雨の晴れ間。



雨上がりの森の静寂と、つよい夏の陽光が、懶の郷に、鮮やかなコントラストを映し出す。

田植えを終えた、のどかに広がる田園。

整然として、すこやかに伸びる早苗の数列。

そんな絵に描いた様な秩序の中を、一陣の風が、縦横無尽に駆け抜ける。緑をなびかせ、その風の道は、どこまでも自由奔放だ。

「風に吹かれて」、あの時代の、ボブディランの歌声は、今もまだ色褪せる事がない。

青春から朱夏へ、移ろう季節の中で、おれた社会の矛盾に、苦惱しエネルギーを持てあ

ます、若者たちの心象風景は、今も昔も、なんら変わりはしない。ちなみに、今年の梅雨は降水量が少なく、首都圏の水瓶である、ダムの貯水量が低下している。梅雨あけ間近のギラつく太陽と、ゴッホの向日葵のまぶしい黄色が、この夏の渴水に警鐘を鳴らしている。

さて7日は、毎年恒例のヤマハ七夕コンサート。湘南希望の郷の、開所当時のイベントは、まさに、「歌は世につれ、世は歌につれ」の言葉どおり、30年の歩みを共に刻んで来た朋友である。

コンサートの発起人、故五十嵐光雄理事長のセンスの良い歌声は、今も耳朶に残り、懐かしく想い出される。心の琴線に触れる、あの名曲と共に、今年もきっと七夕の夜空で、名も無い星たちと、ささやかな幸せを歌っていることでしょう。

◆湘南希望の郷 家族部会の皆さまへ◆

家族部会長 眞鍋 直規

湘南希望の郷前の田んぼでは、24節気の芒種が始まった頃に、丁度田植えがされていました。今年も、夏には青々と、秋には黄金色に輝き、借景を楽しませてくれることでしょう。

さて、少々遡りますが、5月21日(土)、光友会事業推進協議会代議員会が開催され、昨年度の決算、今年度の活動計画、予算、今年度の代議員が承認されました。事前にアンケート形式で代議員をお願いしましたが、受け付けていただける方がおらず、昨年度の代議員、家族部会長：眞鍋直規、代議員：佐藤照夫、和井田濃で続行させていただきます。本年度もよろしくお願い致します。

また、6月5日(日)には、「太陽の家まつり」が開催されました。雨の中、ライフ湘南、神奈川ワークショップのご家族の方々を中心に約300パックの焼きそばを完売いたしました。湘南希望の郷の家族部会の方の参加が少ないのが残念です。7月4日の定例会では、「ふくし村まつり」に出店する模擬店の打合せを行い

ます。9月9日(金)の「希望寄席」の入場券販売も行いますので、皆さまの参加をお待ちしております。

<7月・8月・9月の行事予定>

◆7月4日(月) 10:30～12:00

第2回定例会。

場所：湘南希望の郷2階会議室。

担当決め、模擬店準備打合せ。希望寄席の入場券、販売。

◆8月22日(月) 10:30～12:00

第3回定例会。

場所：湘南希望の郷2階会議室。

模擬店準備打合せ。バザー品値付けなど。

◆8月28日(日) 12:00～17:30

第24回ふくし村まつり。

場所：湘南ふくし村。模擬店にて販売など。

◆9月9日(金) 16:50～18:30

第29回希望寄席。

場所：湘南台市民シアター。担当者は受付手伝い。

第24回 中里小・希望の郷交流会

6月15(水)10時より中里小学校交流会が開催されました。今年の2年生は2クラス68名で、昨年よりも賑やかになりました。希望の郷へ来所するにあたり、バリアフリーの勉強をして来たとの紹介があり、全員で「世界中の子どもたちが」を手話を交えながら歌ってくれました。希望の郷の紹介の後、音楽グループの皆さんで前理事長作曲の「希望の郷の歌」を歌いました。恒例のプレゼント贈呈では、68名全員で入居者一人ずつに手作りのメダルをかけて握手してくれました。最後に8月28日(日)

ふくし村まつりにぜひ遊びに来て下さいとお伝えして、和やかな雰囲気のまま会は終了しました。



◆7月の予定◆

健康課より



湘南第一病院	次田 Dr. 来診	4日・22日
三井眼科	来診	5日
藤沢病院	石井 Dr. 来診	9日
御所見病院	多田隈 Dr. 来診	13日

行事



七夕コンサート	7日
R V 体育館練習	20日
クリームランド	24日
避難訓練	26日
住人生活会議	28日

<お願い>

現在希望の郷本館では、清拭用の白タオルが不足しております。
ご家庭で使用していないタオルがございましたら
ご協力お願いします。

希望の郷本館担当 田中哲朗

◆障害者スポーツ大会◆

5月29日(土)神奈川県立体育センター陸上競技場に於いて、第10回神奈川県障害者スポーツ大会が開催され、希望の郷入居者7名が出場しました。

毎年メダルラッシュに沸くこの大会は、同時に昨年までの自己記録との戦いもあります。

日焼けする程の強い日差しの中、参加された全員が昨年と引けを取らない好記録を出す事ができました。

一方でちょっとしたミスによりタイムロスや記録なしに終わったスラロームは、来年に向けた練習が課題となりました。お疲れ様でした。



ACT 高島義明



梅雨入りはしたものの、肝心なところには降らず水不足が叫ばれる昨今、今夏は今まで以上に暑い夏になりそうなのでどう過ごそかと考える毎日です。

今月も何とか希望通信を送り出すことができました。

次回からはより皆様に密着した希望通信を出していければと思ってます。

(R.H)